

生田流宮城会宮城宗家直門  
大師範（箏奏者）

きみや みよこ  
貴宮 巳代子 さん



人を癒やし優しい気持ちにする  
「箏」の音色がなによりも好き。  
自分の全てを箏に注ぎ込んだ。  
より多くの人に箏の魅力を伝え、  
次の世代に繋げていきたい。

林 小 人  
こばやしびと  
Vol.61



市民音楽祭には、第1回からの出演。箏の魅力  
を多くの市民に伝えている

美しくどこか懐かしい音  
色を奏でる日本の伝統楽器  
「箏」。国の重要無形文化財  
保持者（人間国宝）の宮城  
喜代子さんから直接指導を  
受け、宮崎日日新聞社文化  
賞など数々の賞を受賞して  
きた箏奏者がいる。

貴宮巳代子さん、84歳。  
貴宮さんは、母、祖母の

影響で物心ついたころから  
箏や三弦、謡曲など伝統音  
楽に触れてきた。

「人を癒し、優しい気持ち  
にする日本独特の箏の音色  
が何よりも好きで、夢中  
になりました」。

高校卒業後、社会人にな  
るとその思いはさらに強く  
なり、時にはSLに揺られ  
東京に稽古や舞台に行くほ  
どのめり込んだ。

メキメキと腕を上げ、人  
間国宝の宮城さんに「あな  
たはいいものを持つている。  
音色がとても美しい」と言  
われるほどに成長した。

「自分の全てを箏に注いで  
来たように思えます。一つ  
後悔があるとすれば、戦後  
間もない高校時代、卒業後、

芸大に進学し音楽を本格的  
に学ぶ道があることを知ら  
なかったこと。その道に進  
んでいればと、ふと考える  
ことがあります」。

30代で箏の教師免許を取  
得し、自らの演奏に加え、  
後進の指導にも当たってい  
る。自身の経験から、生徒  
には音楽とその将来まで考  
え指導。教師としても、全  
国大会で優勝する生徒を複  
数人育てている。

「箏は日本が誇る伝統楽器  
です。だからこそ多くの人  
に魅力を伝え、次の世代へ  
と繋げていきたいですね」。

貴宮さんは、今年も市民  
音楽祭に出演する。箏の美  
しい音色を未来へと響かせ  
るために。